

生産性向上支援訓練カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター

実施機関名： パナソニックエレクトリックワークス創研(株)

B. 組織マネジメント	事故をなくす安全衛生活動	主な受講者層
リスクマネジメント		中堅層

コースのねらい	職場の安全衛生の改善をめざして、安全衛生の要点や企業における安全衛生活動、リスクを低減するための点検手法についての知識を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義 内容	1 安全衛生概論	(1) 企業における安全衛生の意義 ・安全の定義/安全第一の歴史/国内労働災害の実態/安全の必要性などを解説し、組織として安全衛生に取り組む事の重要性を理解させる。 (2) 安全衛生関係法令 ・安全/安心な環境で仕事をする事の重要性とその環境提供は企業の責務である事を解説し、法令体系や内容を解説する事で当事者のやるべき事を理解させる。 (3) 災害発生メカニズム ・労働災害を「傷害」と「疾病」に層別し、それぞれの発生要因を解説する事で災害発生メカニズムを理解させ災害を抑制するための基本を学ぶ。	1.5
	2 企業における安全衛生活動	(1) 危険予知活動とヒヤリ・ハットの概要 ・危険予知活動とヒヤリ・ハットを解説し、職場の危険源である不安全状態や不安全行動を見つける力を高める事とその活動を継続する事の重要性を理解させる。 (2) 安全衛生パトロールの概要 ・安全衛生パトロールの目的や種類、現場での具体的なチェック方法・問いかけ方法などを解説し、その活動を継続する事の重要性を理解させる。 (3) メンタルヘルスとストレスチェックの概要 ・2015年に制定されたストレスチェック制度をベースに、職場で発生するストレスやメンタルヘルスの状況を解説し、セルフケアの強化及び職場環境の改善策とその重要性を理解させる。	1.5
	3 点検による管理	(1) リスクレベルに応じた点検 ・リスクレベルの見える化が環境改善の第一歩である事を解説し、リスクの定量化に関する基本的な考え方を学ぶ。 ・安全点検の目的や種類、効果的な点検方法を解説する。 (2) チェックリスト作成のポイント ・チェックリストの一般的な事例(良い/悪い)を紹介する事でその問題を解説し、その効用と作成ポイントを理解させる。 ・法令上/安全確保上必要なものをそれぞれ区別して解説する。	0.5
	4 労働災害発生時の対応	(1) 労働災害発生時の手順 ・再発防止策の実施 (2) 災害要因分析(事例紹介)	1.0
	演習	基本項目で学んだ事をより実践的なレベルまで高める為に下記演習を行う。 ・危険予知の基本的な方法「4ラウンド法」の演習。 ・リスクレベルの見える化「リスクアセスメント法」の演習。	1.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント	1. 安全衛生に関する基本知識習得を容易にするため、体系的に分かり易くまとめ、且つ簡易な質問を設けた。 2. 各種安全衛生活動の実施方法の理解を助けるため、各種活動の目的やポイントを分かり易くまとめた。
---------------	--